

質問に対する回答について

調査等名) 東北自動車道 八幡平スマートIC詳細設計

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	<p>特記仕様書 2-8-1 溝渠工設計 金抜設計書</p> <p>ボックスカルバート設計Aについて、地震時の照査が「有り」になっております。また、金抜設計書にボックスカルバートの地震時の照査についての項目がありません。ボックスカルバート設計Aの項目にボックスカルバート設計（概略一般図作成後の詳細設計）と地震時の照査の費用が含まれていると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>ボックスカルバート設計Aの項目には地震時の照査費用が含まれています。</p>
2	<p>特記仕様書 2-8-2 護岸詳細設計</p> <p>本業務を行うにあたり、対象地域は軟弱地盤と考えてよろしいでしょうか。また、測点間隔は20~25mと考えてよろしいでしょうか。また、各工種の作業する種別は岩手県県土整備部設計業務等共通仕様書（令和5年10月1日適用）第2編第3章第2307条に記載されております下記内容でよろしいでしょうか。</p> <p>(3) 基本事項の決定</p> <p>1) 法線等の見直し検討</p> <p>2) 護岸の配置計画</p> <p>3) 構造物との取付検討</p> <p>(4) 本体設計</p> <p>1) ①基礎高検討諸元の整理 ②安定計算</p> <p>2) ①土質性状, 定数の整理 ②現況護岸の安定計算 ③対策工法の比較検討 ④対策工法の安定計算</p> <p>(5) 付帯施設設計</p> <p>2) 排水管渠</p> <p>(6) 施工計画</p> <p>1) 施工計画</p> <p>2) 仮設計画</p> <p>(7) 図面作成</p> <p>(8) 数量計算</p> <p>(9) 照査</p> <p>ご教示願います。</p>	<p>対象地域は一般地盤です。 また、測定間隔は20~25mです。</p> <p>護岸詳細設計の業務内容については、岩手県県土整備部設計業務等共通仕様書（令和5年10月1日適用）第2編第3章第2307条によるものであり、該当する業務内容は本特記仕様書 2-8-2 1) 護岸詳細設計の通りです。</p>